

## 令和元年度第2回自立支援協議会こども部会 作業部会 議事要旨

1. 開催日時 令和元年9月9日(月)午後2時～3時30分

2. 開催場所 市役所4階 会議室S2・3

3. 出席者 (委員)\*団体名のみ記載

教育研究センター、(特非)千楽、浦安手をつなぐ親の会、(特非)かぶあ、(福)パーソナル・アシスタンスとも、(特非)ワーカーズコープ、(特非)発達わんぱく会、(特非)アリスのうさぎ、(株)チェントアンニ、スマートキッズ(株)、千葉県立市川特別支援学校、千葉県立船橋夏見特別支援学校、浦安市子育てケアマネジャー、こども発達センター

(事務局)障がい事業課、障がい福祉課

### 4. 議事次第

(1) 事例検討「こどもにかかわる架空事例の検討から関係機関の連携について検討する」

関係機関の「連携」に焦点を当てながら、「障がいをお持ちのお子さん、お子さんのことで困り感を抱えた保護者を支える仕組みについて考える」をテーマに、各機関で「自分たちにできること」を共有しながら支援方法を検討した。

#### ・事例

発達に不安のある就学前のこどもと共働きの両親の支援について

### 5. 議事概要

(1) 事例検討「こどもにかかわる架空事例の検討から関係機関の連携について検討する」

#### ■主な意見(リーダー:リ、委員:委、事務局:事)

リ:事例検証の際には、こども部会の共通テーマである関係機関の連携、学校との連携、地域との連携と「障がいをお持ちのお子さん、またはお子さんのことで困り感を抱えた保護者を支える仕組みについて考えるという」というテーマに沿い、それぞれの所属の立場や一人の人として、これまでの経験等を生かし、支援について協議してほしい。

#### 意見

・子育てをする人手が足りていない。預け先も保育園のみとなっており、母親が時間に追われている。保育園の先生や、子育てケアマネに相談するとよい。

・特別支援学校の先生が保育所訪問の際に、支援について助言できる。

・土日相談受付する機関があれば、両親も相談しやすい。

・家と保育園での状況や困り度について、保育園と家庭で共有するとよい。保育園側からうまく家庭に状況を伝えることが重要。

・保育園側から、他の支援機関について家庭に情報提供する。

・障がいの有無にかかわらず、保護者が困り感を話せる「おしゃべり会」があるとよい。

- ・就学後の通学についてが一番困ると思う。障害福祉サービスを利用したり、就学前の段階で通学に向けて児童発達療育を受けるなど、方法がある。
- ・サービスの利用や学校の実選択なども含め、相談支援専門員をつけるとよいのではないか。
- ・支援機関のパンフレットを保育園に設置したり、情報取得できるような工夫が必要。
- ・まなびサポート事業も、保育園からの依頼があればかかわることができる。
- ・相談者を待つのではなく、「相談はありませんか」とアプローチするとよい。